

岡山大学病院てんかんセンターにおける事業報告



全国てんかん対策連絡協議会(2023年12月17日)

岡山大学病院てんかんセンター



小児神経科、脳神経内科、脳神経外科、
精神科神経科、関連診療科・部で構成

てんかん診療コーディネータ 1名
(MSW、総合患者支援センター所属、兼務)

外部からの種々の問い合わせへの対応、
必要に応じて脳神経系診療科への振分け



てんかんで苦しんでいる方は日本で100万人以上いると推定されています。
しかし高度に専門的な診療ができる病院は日本でもまだ限られており、
患者さんほどこの病気でてんかんにより多くみてもおられるの分りにくい現状です。
そこでてんかんセンターを中核、設置地域でも設立してほしいという患者さんのお声にお答えし、
2013年12月に岡山大学病院てんかんセンターが誕生しました。
そして2015年12月には岡山県のてんかん医療機関に認定されました。
岡山大学病院では病院内の脳神経内科と小児神経科で専門的なコンファレンスを開催して
てんかんの病態の選定、手術適性の決定などを行ってまいりましたが、精神科神経科、
神経内科、救急科、放射線科などそれぞれてんかんの診療に關わって来た診療科
との連携を強め、患者さんの声に耳を傾けて、
日本で唯一大規模となる施設を造りたいと考えております。

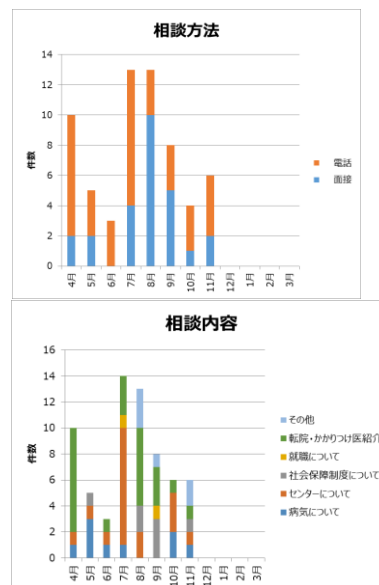
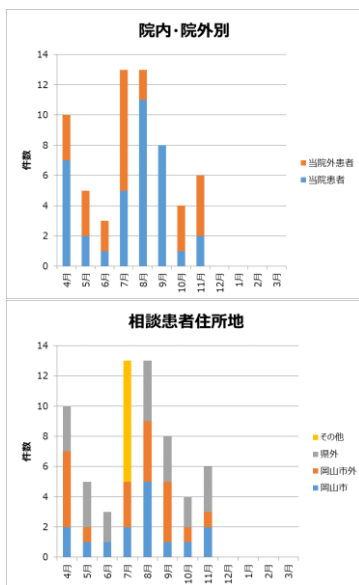
お知らせ

年3回の会議開催

委員構成

医師、医療ソーシャルワーカー、行政(岡山県担当者)、
患者会、患者、患者家族

岡山大学病院てんかんセンターが行う事業への助言、
意見交換を行う



診療連携を進めるために

医師間で顔の見える関係が必要

- 専門医と係付医
- 小児科医と成人科医
- 異なる地域の医師



情報交換の場が必要

診療情報の円滑な提供方法が必要

診療レベル全体の底上げが必要

- 難治例の見極め、適切なタイミングでの紹介などを含む

岡山県てんかん診療ネットワーク(OPEN)

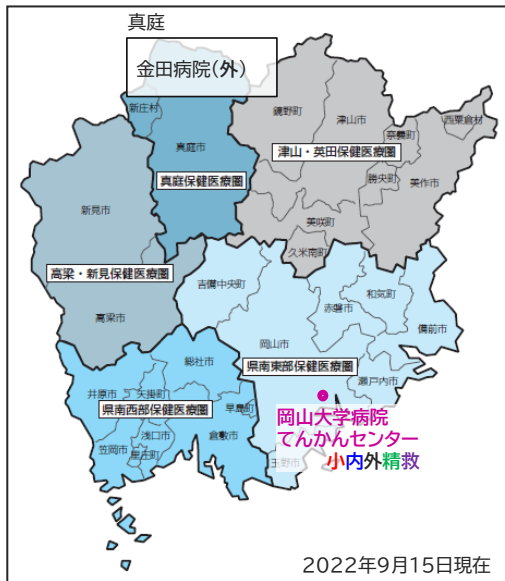
小:小児(神経)科
内:脳神経内科
外:脳神経外科
精:精神科
救:救命救急科

高梁・新見

高梁中央病院(外)
渡辺病院(外)

県南西部

萌生会国定病院(精)
倉敷中央病院(小内)
倉敷記念病院(内)
川崎医科大学附属病院(小内)
倉敷平成病院(外)
南岡山医療センター(小内)
倉敷成人病センター(小)



2022年9月15日現在

津山・英田

江原積善会積善病院(精)
津山中央病院(小内外)
鏡野町国民健康保険病院(小)
かんだ小児科医院(小)

県南東部

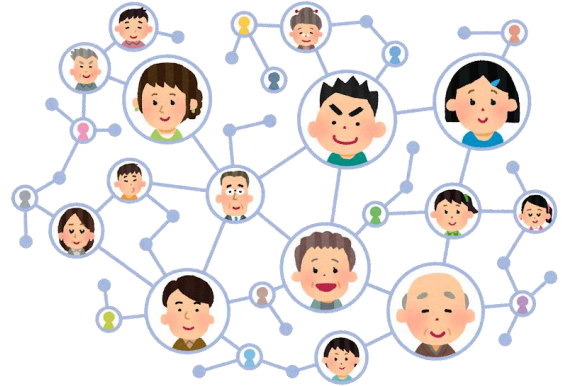
岡山県精神科医療センター(精)
白栄会原尾島クリニック(精)
岡山旭東病院(内)
岡山市民病院(内)
中津クリニック(内)
岡山医療センター(小内)
川崎医科大学総合医療センター(内)
岡山赤十字病院(内)
岡山東部脳神経外科東備クリニック(外)
岡山中央病院(外)
岡山済生会総合病院(小)
旭川荘療育・医療センター(小)
大野はぐくみクリニック(小)

メーリングリスト(OPEN-ML)

OPEN参加機関の担当医師を登録(メールアドレスを御提供いただいた方のみ)

参加者は誰でも情報発信可能

診療に関する情報交換、質問、
課題の討論などを目的している



OPEN定例会議

今年度は9月に開催

- オンライン会議
- 緊急受け入れ態勢について
- 小児科から成人科への移行、県内転居に
ともなう転医に関して
- 困った事例、紹介の際に注意すべき点
- 紹介状テンプレートに関する意見交換



紹介状テンプレート(2020/2/20版)

○【発作症状】 文章で記載

【発作型】 特定できれば記載

【てんかん病型・てんかん症候群】 特定できれば記載

【病因】 特定できれば記載

○【検査結果】 画像、脳波等の日時、所見

【家族歴】

【既往歴】

【発病年齢】

【診断年齢】

○【最終発作】 日付、年齢、または未抑制

○【治療薬】

現在の治療内容

最も効いたと思われる薬剤

過去に試した薬と効果、副作用

使ってはならない薬剤

【経過】 上記では納まらない内容があれば追記

【既往症・合併症】

□てんかん重積状態()

□アレルギー()

□糖尿病 □心疾患 □知的障害

その他、あれば記載

【社会状況】

運転免許取得 □可 □不可 コメント()

妊娠についての説明 □妊娠可 □妊娠不可 コメント()

授乳についての説明 □授乳可 □授乳不可 コメント()

手帳や年金の有無

【理解】


患者の理解 □良好 □不良 □不明

患者家族の理解 □良好 □不良 □不明

書式なしテキストで作成してあるので、
適宜コピー＆ペーストで使っていただく

赤字は最低必須項目

患者連絡カード(2021/2版)

<p>連絡カード</p> <p>岡山県てんかん治療医療連携協議会</p> <p>2021年2月 発行</p>  <p>* 岡山県「66ちゃん・55ちゃん」</p>	<p>お名前</p> <p>緊急連絡先</p> <p>診断</p> <p>発作の症状</p> <p>1.</p> <p>2.</p> <p>3.</p> <p>発作への対応方法など</p>	<p>通っている医療機関と主治医</p> <p>1.</p> <p>2.</p> <p>3.</p> <p>4.</p> <p>使った薬 (○：有効、△：やや有効、×：無効、 ××：悪化、#：副作用)</p> <p>1. () 2. ()</p> <p>3. () 4. ()</p> <p>5. () 6. ()</p> <p>薬の効き目と副作用など</p> <p>アレルギー、使ってはならない薬</p>	<p>主な検査(日付と結果)</p> <p>脳波</p> <p>頭部画像(MRI、CTなど)</p> <p>他の検査</p> <p>自由記載(他の病気など)</p> <p>重要な伝達事項</p>
--	--	---	---

てんかん症例webカンファレンス

県内全体の診療レベル底上げを目指す

悩ましい症例についての相談

初級～中級レベルを想定

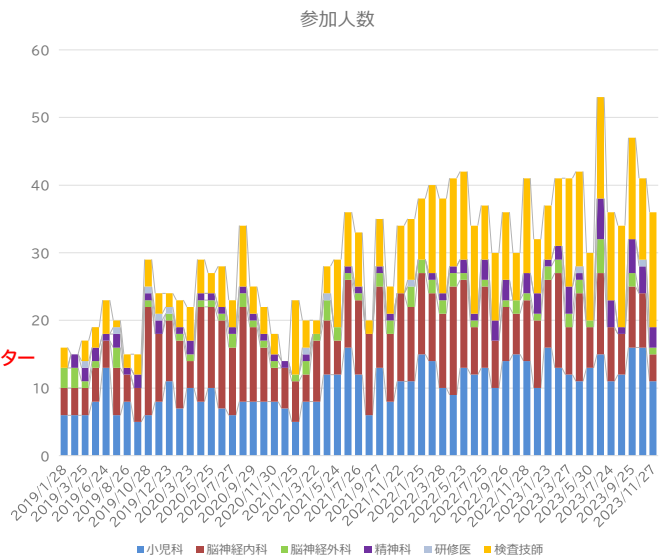
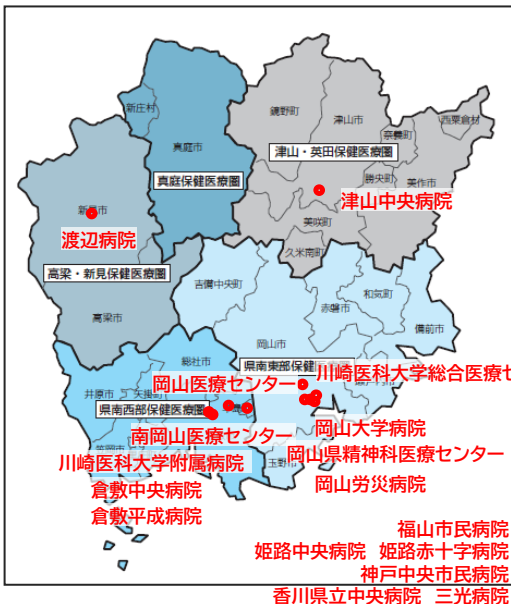
月1回、1～2症例/1時間

1症例は主要医療機関で持ち回り

様々な年齢の症例、精神科の症例、
非てんかん症例もあり、勉強になる



てんかん症例webカンファレンス



第9回 ビギナーズのための小児デジタル脳波ハンズオンセミナー

脳波の判読経験があまりない初心者を対象として、デジタル脳波を学ぶための集中講習を行います。

参加者1人1人にコンピュータを割り当て、小児脳波を実際に判読していただきます。その後、ハンズオン形式での解説を行います。

てんかん発作についての講義も発作時ビデオ脳波記録を用いて行います。



開催日：2023年8月26日（土）12:45 - 17:00、8月27日（日）9:00 - 12:00

講習会、市民公開講座

2023年度
第1回 岡山大学病院てんかんセンター講習会
てんかんの診断と治療・対応法

てんかんの患者さんは100人に1人おられます。
基本的知識と現場での対応法（ビデオあり）についてお話しします。
現場で発作を止める治療薬「プロコム®」についても説明します。

日時：2023年8月4日（金）18時00分～19時30分
場所：Web開催（Zoomを使用）
対象：幼稚園、学校教職員
人数：90人まで（先着順）
参加費：無料

参加人数の把握と会議のリンク送信のため、参加希望（所属名もお願いいたします）の方は、7月27日（木）までに、下記担当者へメールでご連絡ください。
事前質問で希望の方はご連絡ください（質問者の氏名は伏せます）。

講演内容

てんかんとは
岡山大学病院小児神経科 医師 土屋弘樹

てんかん発作への対応法
岡山大学病院小児神経科 医師 時岡礼恵

事前質問への回答、質疑応答

問い合わせ先：岡山大学病院医事課 甲
Tel：086-235-6747
Mail：ouh-ij@adm.okayama-u.ac.jp

岡山大学病院てんかんセンター
https://epilepsy.hospital.okayama-u.ac.jp/

本講習会は、てんかん地域診療連携体制整備事業（厚生労働省、岡山県）の一環として行っています

てんかん市民公開講座
てんかんの治療 ～長期的視点から～

令和5年11月12日（日）
（参加無料）

てんかんは様々な年齢で発症しても発症します。重症心身障害児のてんかん、思春期発症でてんかんなど様々なものが含まれます。その人の症状やライフスタイルに合わせて長期的な視点で治療を考える必要があります。治療はてんかんの当事者・家族と医療者、さらに福祉、教育現場、職場など当事者を取り巻く様々な人たちの連携によって成り立ちます。よりよい治療に向け、みんなで一緒に考えてみませんか？

講演会

- 「てんかんってどんな病気？」
日本てんかん協会岡山県支部代表
旭川荘療育・医療センター 大塚顕子
- 「オーダーメイドのてんかんの治療
～長期的視点から～」
南岡山医療センター 吉永治美

講演終了後に相談会を行います。医療関係者、福祉関係者、支部に属する当事者・家族を交えて問題解決の知恵を出し合います。どうぞ気軽に参加ください。

日時：令和5年11月12日（日）14:00～16:00（受付13:30～）
会場：岡山市勤労者福祉センター 第一会議室 <参加無料>
住所：岡山市北区春日町5-6
主催：公益社団法人日本てんかん協会 岡山県支部
後援：岡山大学病院てんかんセンター 岡山市（予定） 岡山県（予定）

※事前申し込みは不要ですが、相談のある方は簡単でかまいませんので、相談内容を事務局にあらかじめお知らせいただけると幸いです。

裏面に続く⇒

疾患啓発活動

備中国分寺
五重塔ライトアップ



Purple
Day

パープルデーとは

カナダのキャディヤー・オーソンソンによって始められた運動で、世界
各国の人にてんかんへの理解を深めようとするに、てんかんを診つ
つるへの理解メッセージを含めて、黄色（てんかんの国際的イメージカラー）
のものを身につける日です。

2024年
3/18(月) ≫ 3/26(火)
18:00~22:00

主催：岡山県てんかん医療連携協議会
共催：岡山大学病院てんかんセンター
協力：岡山県、岡山府
担当：岡山大学病院てんかんセンター
お問い合わせ：086-235-7373



スポーツチームとのコラボ (昨年度)

PURPLE DAY OKAYAMA

パープルデーとは
～それは、世界中で行われている「てんかん」の啓発キャンペーン～

2018年に開始されたカナダのキャディヤー・オーソンソンによって始められた運動で、世界各国の人にてんかんへの理解を深めようとするに、てんかんを診つづるへの理解メッセージを含めて、黄色（てんかんの国際的イメージカラー）のものを身につける日です。

パープルデーの認知度を高めるための活動として、岡山県てんかん医療連携協議会とコラボし、岡山大学病院てんかんセンターにて啓発活動が行われるようになり、てんかんの認知度を高めることに貢献しています。



岡山リベッツは、てんかんの啓発活動に取り組んでいます

3月26日には、黄色のものを身につけ、あなたも参加！パープルデーにご参加ください！

×